



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,932	26.8	520	54.6	608	46.5	451	37.9
2019年12月期第3四半期	8,101	24.7	1,144	30.3	1,136	30.5	727	27.5

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 440百万円 (39.3%) 2019年12月期第3四半期 725百万円 (28.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	66.22	
2019年12月期第3四半期	106.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	8,170	6,343	77.6	930.08
2019年12月期	8,892	6,284	70.7	921.50

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 6,343百万円 2019年12月期 6,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		24.00		26.00	50.00
2020年12月期		30.00			
2020年12月期(予想)				25.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の中間配当金につきましては、創立40周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,445	20.8	912	41.5	1,135	27.0	724	27.1	106.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	6,924,400 株	2019年12月期	6,924,400 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	104,176 株	2019年12月期	104,127 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	6,820,239 株	2019年12月期3Q	6,820,273 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、極めて厳しい状況に置かれています。一時は感染者数も減少しましたが、夏以降再び増加傾向に転じ、経済活動への影響が長引くことが予想されます。世界経済においてもコロナ禍収束の目途がついておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム事業の3つの事業を展開し、自動車から各種情報家電、産業機器、FA機器、医療機器、教育関連、物流、食品、水産業、農業、観光、出版など幅広い業界へのサービスを提供しており、グループ各社の特色を組み合わせることで相互に補完し、取引先企業における製品開発から試験・解析・販売・保守やアフターサービスまでのビジネスプロセスの各段階へのサポートを実現可能とする「技術情報統合マネジメント企業」を目指しております。また近年では、IoT、AI、ロボットビジネスをはじめとする新規事業・新規領域の開拓を図っております。

新型コロナウイルスの影響は、2月以降徐々に営業活動への支障という形であらわれてまいりましたが、第1四半期までは比較的順調な推移でありました。しかしながら、4月に入ると状況は一変し、現在に至っております。

当社グループでは、緊急事態宣言が解除された後もグループ各社で引き続きテレワークや事務所内でのソーシャル・ディスタンスを保つためのスペース確保など従業員間での感染防止策を講じております。一方で、取引先企業の多くでも同様の対策がとられたことから、営業活動、とくに新規案件の受注に向けた活動が大きく制約され、売上高の確保が厳しい状況となりました。これに対して、役員報酬の削減をはじめとして諸経費の圧縮に努めてまいりましたが、売上高の減少分を補うまでには至らず、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高5,932百万円（前年同期比26.8%減）、営業利益520百万円（前年同期比54.6%減）、経常利益608百万円（前年同期比46.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益451百万円（前年同期比37.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

（ドキュメンテーション事業）

ドキュメンテーション事業においては、上述のような新型コロナウイルスの影響により、4月以降の新規受注が減少したことから、売上高は2,022百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益は458百万円（前年同期比31.7%減）の減収減益となりました。

（エンジニアリング事業）

エンジニアリング事業においても、新型コロナウイルスの影響により営業活動が著しく制約を受けることとなりました。特に民間向けFA・ロボットシステムの受注が伸び悩んだことから、売上高1,174百万円（前年同期比20.1%減）、営業利益171百万円（前年同期比44.2%減）の減収減益となりました。

（技術システム事業）

技術システム事業におきましては、前年同期にはWindows 7のサポート終了に伴うIT機器更新関連の受注を多く得ておりましたが、これらの需要が終了したことによる売上高減に加え、新型コロナウイルスの影響により、前年対比で大きく減収減益となりました。具体的には、売上高2,766百万円（前年同期比37.1%減）、営業利益341百万円（前年同期比48.5%減）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,170百万円であり、前連結会計年度末より722百万円減少しております。内訳は、流動資産が750百万円減少の4,362百万円、固定資産が27百万円増加の3,808百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、その他で177百万円（主に「未収還付法人税等」）の増加があった一方、現金及び預金で204百万円、受取手形及び売掛金で721百万円の減少があったこと等であります。

また、固定資産の変動については、のれんの償却により「のれん」が26百万円、その他無形固定資産が21百万円減少した一方で、投資その他の資産が77百万円（主に「敷金・保証金」）増加したこと等であります。敷金・保証金の増加は、当社の名古屋支社および子会社である株式会社MCORの名古屋オフィスの移転によるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より780百万円減少し、1,826百万円となりました。内訳は、流動負債が780百万円減少の1,820百万円、固定負債が6百万円であります。

流動負債の変動の主な要因は、賞与引当金が204百万円増加した一方、支払手形及び買掛金で121百万円、短期借入金で200百万円、未払金で375百万円、未払法人税等で246百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は6,343百万円であり、前連結会計年度末より58百万円増加しております。要因としては、主に利益剰余金が69百万円増加したためであり、これは親会社株主に帰属する四半期純利益451百万円の計上と配当金支払381百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年7月30日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期等に関して先行きを予測することは困難であります。当社グループでは、現時点で入手可能な外部情報等に基づき、当該感染症の影響は当連結会計年度中に徐々に回復するものと仮定して、のれん等の会計上の見積りを行っております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,852,588	1,647,739
受取手形及び売掛金	2,567,177	1,846,062
電子記録債権	209,361	224,771
商品及び製品	58,662	50,517
仕掛品	189,517	165,123
原材料及び貯蔵品	12,172	27,891
その他	227,082	404,390
貸倒引当金	△4,497	△4,439
流動資産合計	5,112,064	4,362,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,851,137	1,848,145
土地	1,059,212	1,059,212
その他(純額)	166,618	168,265
有形固定資産合計	3,076,968	3,075,624
無形固定資産		
のれん	196,901	170,247
その他	110,905	89,553
無形固定資産合計	307,806	259,801
投資その他の資産		
その他	408,103	485,335
貸倒引当金	△12,640	△12,640
投資その他の資産合計	395,463	472,695
固定資産合計	3,780,238	3,808,121
資産合計	8,892,303	8,170,177
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	334,972	213,416
短期借入金	650,000	450,000
未払金	704,429	329,100
未払法人税等	307,900	61,361
未払消費税等	111,919	123,980
賞与引当金	161,495	365,777
受注損失引当金	4,274	2,398
製品保証引当金	14,333	9,104
その他	311,631	264,897
流動負債合計	2,600,956	1,820,035
固定負債		
退職給付に係る負債	4,100	4,373
資産除去債務	2,347	2,367
固定負債合計	6,447	6,740
負債合計	2,607,403	1,826,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	4,197,775	4,267,512
自己株式	△25,575	△25,626
株主資本合計	6,284,294	6,353,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,890	△13,070
為替換算調整勘定	2,495	2,489
その他の包括利益累計額合計	604	△10,580
純資産合計	6,284,899	6,343,401
負債純資産合計	8,892,303	8,170,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,101,298	5,932,953
売上原価	5,711,627	4,141,066
売上総利益	2,389,670	1,791,887
販売費及び一般管理費	1,245,165	1,271,856
営業利益	1,144,505	520,030
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	792	771
為替差益	—	921
確定拠出年金返還金	1,174	1,627
売電収入	2,174	1,984
助成金収入	740	112,973
その他営業外収益	2,909	1,707
営業外収益合計	7,811	120,007
営業外費用		
支払利息	3,178	2,337
支払融資手数料	5,037	5,076
為替差損	3,431	—
減価償却費	1,970	1,738
解約違約金	—	18,856
その他営業外費用	2,008	3,953
営業外費用合計	15,627	31,961
経常利益	1,136,689	608,076
特別利益		
固定資産売却益	75	79
助成金収入	—	18,483
移転補償金	—	109,703
特別利益合計	75	128,266
特別損失		
固定資産除却損	1,397	5,655
減損損失	600	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	36,815
その他特別損失	—	3,735
特別損失合計	1,998	46,207
税金等調整前四半期純利益	1,134,766	690,135
法人税、住民税及び事業税	469,562	258,404
法人税等調整額	△62,387	△19,940
法人税等合計	407,175	238,464
四半期純利益	727,590	451,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	727,590	451,671

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	727,590	451,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,298	△11,179
為替換算調整勘定	282	△5
その他の包括利益合計	△2,016	△11,185
四半期包括利益	725,574	440,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	725,574	440,486
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,299,530	1,464,129	4,337,638	8,101,298	—	8,101,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	502	6,547	60,214	67,264	(67,264)	—
計	2,300,033	1,470,676	4,397,852	8,168,562	(67,264)	8,101,298
セグメント利益	672,126	307,707	662,581	1,642,415	(497,910)	1,144,505

(注) 1. セグメント利益調整額△497,910千円には、セグメント間取引消去6,758千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△504,668千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,021,781	1,165,391	2,745,780	5,932,953	—	5,932,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	588	9,286	20,522	30,398	(30,398)	—
計	2,022,370	1,174,678	2,766,303	5,963,352	(30,398)	5,932,953
セグメント利益	458,748	171,551	341,031	971,330	(451,300)	520,030

(注) 1. セグメント利益調整額△451,300千円には、セグメント間取引消去6,977千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△458,277千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。